

妙智會

11月14日 秋の大法要
千葉聖地大道場 (ライブ配信)
宮本法嗣先生ご指導

Vol. 145
2024. 11. 17
1/2

11月14日、千葉聖地に於いての秋の大法要「平和祈願の日」に、大勢ご参集を頂きまして、誠にありがとうございます。

今回のフォーラムに対しまして、物心両面に渡り、皆さまからご支援を頂きましたことを、この尊い場所で、心から御礼を申し上げます。今日の素晴らしい天候、そして皆さまのお心を頂いて、今回のフォーラムは大成功だと、私自身、確信しております。しかし「油断大敵」ですので、魔を入れないように心を締めて、フォーラムが終わるまで、しっかりと修行して参ります。ぜひ皆さまも、朝夕のご供養の時に、しっかりと念願をお願いいたします。

本題に入りますが、大恩師さまは、人間というのは「争い」をなくすことができないからこそ、信者に「忍善」の心を持たせたいと、忍善のご指導を残されました。そして大導師さまは、「忍善こそが妙智會の独自性であって、平和になる一番の近道だ」と、ご指導くださいました。大恩師さまの祥月命日の今日、私たちは忍善というものを、もう一度、再確認しなければならないと思います。

そうは言っても、すぐイライラしてしまうのが人間で、なぜ怒るのかと顧みると、ほとんどが自分の思った通りにならないからです。會主さまは「思い通りにならない時、嫌なことがある時は、口に出す前に、お題目に変えなさい」とおっしゃいました。

大導師さまがおっしゃった「和顔愛語」も、忍善の心を作る一つの修行です。できるだけ、ぜひ笑顔で、忍善の心を作ってください。忍善というのは難しいことではなく、自分が思った通りにできないときにお題目を唱えて、「忍善の修行を頂いた、修行を与えて頂いた」と思うことです。

私たちは人間ですから、すべてが思う通りにはなりません。自分の思った通りにできるのは、全部で「10」とすれば「2」できるかどうかで、きちんとお経を上げて導きをしていくと、あとの「8」や「9」は霊界が順序してくださいます。だから、會主さまは「私の力にあらず」とおっしゃって、私たちはその通りに、「ああ、ありがたい」と修行をしていけば良いのです。自分の思った通りより、霊界の思った通りに生きることができれば、幸せになることができます。要は「我」を張らないということですが、霊界が順序してくださることのほとんどは、自分の考えと相反するものです。

自分の思った通りにならなくても、「これは霊界のおかげなんだ。霊界の言う通りにさせて頂こう」と修行を重ねていくと、だんだん霊界と自分の願いが合致していきます。素直になって、自分の我を張らずに忍善の精神で「霊界のおっしゃる通りでございます」と修行をしていくと、必ずいつか合致します。

大恩師さま、大導師さまのお二方の心を頂いて、自分の思った通りにならなくても笑って、「ありがとうございます」という人生を送ってみてください。必ず霊界と一緒にすることができます。

そういう修行をされた方は亡くなると、「御四方」“大恩師さま、會主さま、大導師さま、女先生”が「あなたは素直で良かったよ」と霊界で待っていてくださいます。私たちが亡くなったら、御四方のいらっしゃる世界に行って、また尊いご指導を頂けるように、素晴らしい人生を送りましょう。

自分の思った通りにならなくても怒らない。短気にならない。口に出さない。どうしても出したかったら、お題目をお唱えする。それを今日から実践してください。それを実践していけば、絶対に霊界と皆さんが合致して、素晴らしい人生を歩むことができます。